

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【国際公開番号】WO2023/280702

【公表番号】特表2024-522913(P2024-522913A)

【公表日】令和6年6月21日(2024.6.21)

【年通号数】公開公報(特許)2024-115

【出願番号】特願2023-580463(P2023-580463)

【国際特許分類】

A 0 1 N 4 7 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

A 0 1 P 1 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 0 1 N 3 9 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

A 0 1 N 3 7 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 0 1 N 4 3 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

A 0 1 N 4 7 / 0 6 Z

A 0 1 P 1 3 / 0 0

A 0 1 N 3 9 / 0 4 A

A 0 1 N 3 7 / 4 0

A 0 1 N 4 3 / 4 0 1 0 1 J

A 0 1 N 4 3 / 4 0 1 0 1 E

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月20日(2025.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

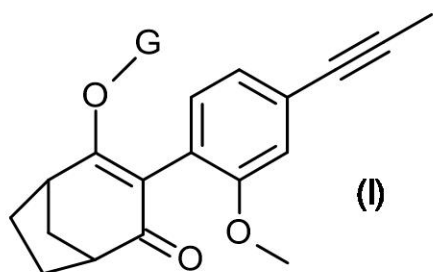
【請求項1】

(A) 除草有効量の式(I)

【化1】

30

40



(式中、Gは、水素、-C(O)CH₃、及び-C(O)OCH₃からなる群から選択される)

の化合物と；

(B) 2, 4-D、クロピラリド、ジカンバ、フロルピラウキシフェン、フルロキシピル、ハラウキシフェン、トリクロピル、及び4-アミノ-3-クロロ-5-フルオロ-6-(7-フルオロ-1H-インドール-6-イル)ピリジン-2-カルボン酸(前記(B)化合物のいずれかの農薬上許容されるエステル若しくは塩を含む)からなる群から選択さ

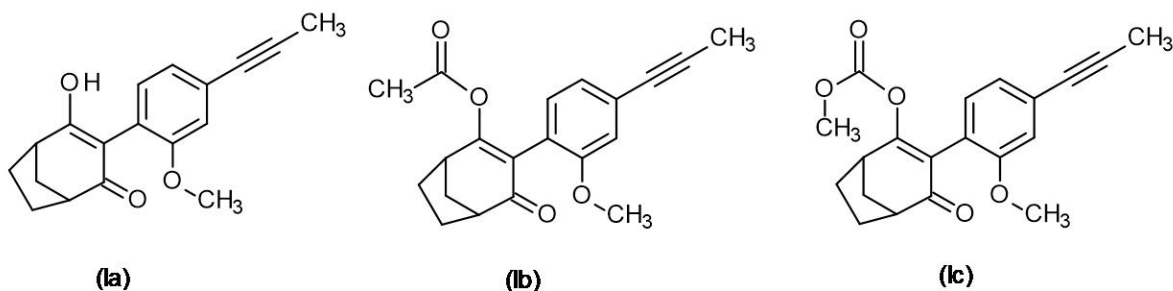
50

れる少なくとも 1 種の除草剤と、
を含む除草剤組成物。

【請求項 2】

式 (I) の前記化合物が、式 (I a)、(I b)、及び (I c)

【化 2】



10

からなる群から選択される、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 3】

式 (I) の前記化合物が式 (I c) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 4】

成分 B が、2, 4 - D (B 1)、又はその農薬上許容されるエステル若しくは塩である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

20

【請求項 5】

成分 B がクロピラリド (B 2) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 6】

成分 B が、ジカンバ (B 3)、又はその農薬上許容されるエステル若しくは塩である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 7】

成分 B が、フロルピラウキシフェン (B 4) 又はフロルピラウキシフェン - ベンジル (B 4 a) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 8】

成分 B がフルロキシピル (B 5) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

30

【請求項 9】

成分 B が、ハラウキシフェン (B 6) 又はハラウキシフェン - メチル (B 6 a) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 10】

成分 B がトリクロピル (B 7) である、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 11】

前記組成物が追加の除草剤成分 (C) をさらに含む、請求項 1 に記載の除草剤組成物。

【請求項 12】

成分 (C) が、アセトクロル、メトラクロル、S - メトラクロル、及びピロキサスルホンから選択される除草剤である、請求項 11 に記載の除草剤組成物。

40

【請求項 13】

ある部位における雑草の防除方法であって、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

【請求項 14】

作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

【請求項 15】

前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、請求項 14 に記載の方法。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0052
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0052】
 【表10】

表B6: 式Icの化合物及びフロルピラウキシフェン-ベンジル(B4a)の組合せ。

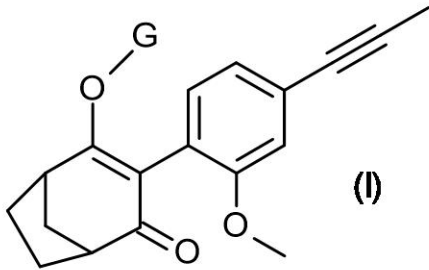
処理	ECHCG イヌビエ(<i>Echinochloa crus-galli</i>)-後 -15DAA			
	割合 g/ha	観察	予測	差
Ic	12.5	66		
B4a	4	58		
	12.5 + 4	95	85	10

10

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕(A) 除草有効量の式(I)

〔化1〕



20

(式中、Gは、水素、 $-C(O)CH_3$ 、及び $-C(O)OCH_3$ からなる群から選択される)

30

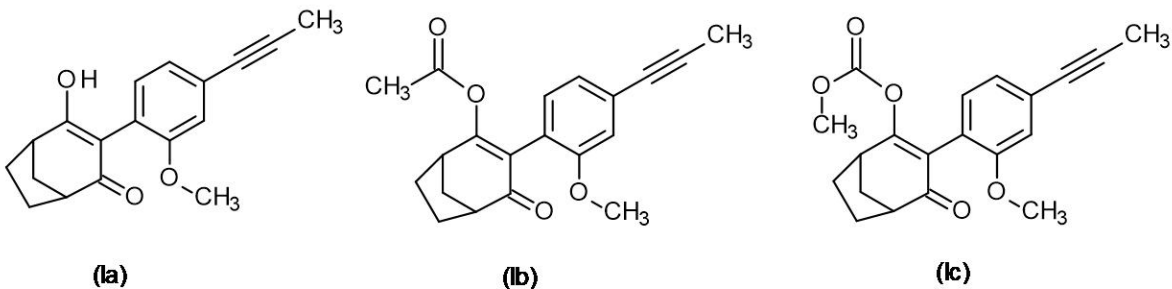
の化合物と；

(B) 2,4-D、クロピラリド、ジカンバ、フロルピラウキシフェン、フルロキシピル、ハラウキシフェン、トリクロピル、及び4-アミノ-3-クロロ-5-フルオロ-6-(7-フルオロ-1H-インドール-6-イル)ピリジン-2-カルボン酸(前記(B)化合物のいずれかの農薬上許容されるエステル若しくは塩を含む)からなる群から選択される少なくとも1種の除草剤と、

を含む除草剤組成物。

〔2〕式(I)の前記化合物が、式(Ia)、(Ib)、及び(Ic)

〔化2〕



40

からなる群から選択される、前記〔1〕に記載の除草剤組成物。

〔3〕式(I)の前記化合物が式(Ic)である、前記〔1〕又は前記〔2〕に記載の除

50

草剤組成物。

〔 4 〕成分 B が、2, 4 - D (B 1)、又はその農薬上許容されるエステル若しくは塩である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 5 〕成分 B がクロピラリド (B 2) である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 6 〕成分 B が、ジカンバ (B 3)、又はその農薬上許容されるエステル若しくは塩である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 7 〕成分 B が、フロルピラウキシフェン (B 4) 又はフロルピラウキシフェン - ベンジル (B 4 a) である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 8 〕成分 B がフルロキシビル (B 5) である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

10

〔 9 〕成分 B が、ハラウキシフェン (B 6) 又はハラウキシフェン - メチル (B 6 a) である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 1 0 〕成分 B がトリクロピル (B 7) である、前記〔 1 〕～〔 3 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 1 1 〕前記組成物が追加の除草剤成分 (C) をさらに含む、前記〔 1 〕～〔 1 0 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物。

〔 1 2 〕成分 (C) が、アセトクロル、メトラクロル、S - メトラクロル、及びピロキサスルホンから選択される除草剤である、前記〔 1 1 〕に記載の除草剤組成物。

〔 1 3 〕ある部位における雑草の防除方法であって、前記〔 1 〕～〔 1 2 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

20

〔 1 4 〕作物植物と雑草とを含む部位における雑草の選択的防除方法であって、前記〔 1 〕～〔 1 2 〕のいずれか一項に記載の除草剤組成物の雑草防除量を前記部位に施用することを含む、方法。

〔 1 5 〕前記作物植物が除草剤耐性形質を含む、前記〔 1 4 〕に記載の方法。

30

40

50